



柏葉



平成31年 1月11日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 芳賀 淳
 スローガン「不屈の歩み」

第3学期がはじまりました ～校長式辞～

新年、明けましておめでとうございます。

昨年暮れに少し雪が積もったものの、年明けからは、天気にも恵まれ、たいへん穏やかな正月となりました。

さて、平成最後の年、平成31年が明けました。今上天皇が今年4月で退位され、5月1日から新しい年号となることになっているため、平成31年は、4カ月しかありません。天皇が代わり、年号が変わるという、歴史的に大きな出来事を皆さんは身をもって経験することになります。また、そのことで、4月末から5月上旬にかけて10連休になるなど例年とは異なる変化も起こるわけですが、なぜ、今年だけ休みになる日があるのか、新しい天皇に変わるに当たってどんな行事を経て行くのか、など歴史の大きな節目にぜひ関心をもってほしいと思います。



さて、先日電車内で、こんな広告を見つけました。みんなの所から見えるのは何やら線が何本か引かれている事が分るくらい。果たしてこれらの線は何を意味していると思いますか。

これらの線は、オリンピックやパラリンピックの陸上競技の記録がどれだけ伸びたかを、その線の長さで示したものです。例えば、男子3段跳びは4年間で46センチ記録が伸びました。一方ここここに1センチという記録があるんですが、男女とも同じ種目で8年間で同じ1センチなんですが何の競技だと思いませんか？

走り高跳びです。そしてこの広告の右側には、「この数センチ、わずかとみるか着実とみるか。」と書いてあります。そして下には、「*DNPは大きな革新と見ます」とあります。*DNPは広告を出した社名

世界のトップアスリートが毎日必死に、緻密な練習を積み、コンディションを整え、よりよい用具が開発され、ベストなジャンプができた結果が8年間でこの1センチなんです。偉大な1センチです。

逆に言えば、トップアスリートはこの1センチとかあるいはミリ単位の記録を伸ばすために、毎日一生懸命練習をしているのです。

今年、いよいよ目の前に受験が迫った3年生がするべき事がこれだと思いませんか。

この時期になったらあと何十点も一気に伸びることを考えるのではなく、あと1問できるように、あと1点を多く取れるように何をしたらよいのかを考えるのが得策です。

いつも言うように「受験は団体戦」です。3年生一人一人のあと1点を追及する姿勢が大きな結果を生むのです。

1・2年生も今からあと1問できるように、あと1点伸ばすようにすべきテストが迫っています。そう、今月18日の市学力調査です。これは中体連でいったら新人戦に当たる重要なテストです。今週11日にはスプリングコンテストもあり、3学期は勉強でがんばってきたことの成果が現われる学期です。

今学期は、3年生45日、1・2年生51日という登校日数の短い学期であり、今年度の総仕上げの学期、そして3年生が卒業していく学期です。新しい年の始まり、新しい生徒会のスタート、新しい目標や希望を持って、みんなで張り切って平成31年のスタートダッシュを切りましょう。

2019年が、皆さん一人一人にとってよりよい年となることを心からお祈りして、式辞といたします。

スプリングコンテスト全員合格を目指して！



1月8日(火) 4校時、東西英語スプリングコンテストのプレテストを実施しました。生徒達は冬休み中に学校(先生方による個別指導)や自宅で練習した成果を発揮しようと集中して取り組みました。本で行われたスプリングコンテスト本番も全力で臨んだ東北中生。結果がとて楽しみです。

★★★ 日々の学校の様子は東北中ポータルサイトで

東北中ポータル

★★★

